

第 35 回全日本大学女子サッカー選手権大会東海地区予選 実施要項

1. 目的

東海地区における大学女子サッカーの技術向上と健全な心身の育成を図り、広く女子サッカーの普及・振興に寄与することを目的とする。

2. 名称

第 35 回全日本大学女子サッカー選手権大会東海地区予選

3. 主催

一般社団法人 東海サッカー協会

4. 主管

東海学生女子サッカー連盟

5. 協賛

株式会社ミニミニ
光フードサービス株式会社

6. 開催期間

2026 年 9 月 19 日（土）～2026 年 11 月 8 日（日）

7. 会場

- ・愛知東邦大学日進グラウンド
愛知県日進市米野木町南山 945
- ・静岡産業大学 第 1,2 グラウンド
静岡県磐田市大原 1572-1
- ・静岡大学サッカー場
静岡県静岡市駿河区大谷 836
- ・中京大学豊田キャンパスサッカー場
愛知県豊田市貝津町床立 101
- ・名古屋経済大学サッカー場
愛知県犬山市内久保 61-1

8. 参加資格

- (1) 2026 年度日本サッカー協会に「女子」の種別で登録した加盟登録チームであり、かつ全日本大学女子サッカー連盟に加盟した大学のチームであること。なお、本大会におけるチーム名は大学名とする。また、上記登録チームのうち、愛知県サッカー協会、静岡県サッカー協会、岐阜県サッカー協会、三重県サッカー協会のいずれかに加盟した大学チームであること。
- (2) 2026 年 8 月 31 日（月）までに日本サッカー協会に登録（追加登録も含む）された単一大学学生的女子選手であること。
- (3) 単一大学の選手が 11 名に満たない場合に限り、以下のいずれかのチーム編成で参加を認める。
 - 1) 同大学の大学院生の登録を 5 名まで認め、1 試合 3 名まで出場できる。
 - 2) 同地区内の他大学の学生の登録を 5 名まで認め、出場できる。
 - 3) 同都道府県内の 2 大学による合同チームでの登録を認め出場できる。

* 1 上記 1) から 3) については、中心となる大学チームへの移籍の必要はないが、全日本大学女子サッカー連盟への登録義務を負う。

* 2 チーム名については、上記 1) と 2) は中心となる大学とし、3) は両大学併記とする。

(4) 外国籍選手：5 名まで登録でき、1 試合 3 名まで出場できる。

(5) 移籍選手：同一年度の大会において、予選から本大会に至るまで、同一選手が移籍後再び同一大会に出場することはできない。

(6) 登録証：試合会場に登録証（写真付・カラー印刷）を持参しない選手は、試合に出場できない。ただし、登録選手一覧（写真付・カラー印刷）をチームで一括して提出することで登録証の提出と見なすことができる。

9. 競技方法

(1) リーグ戦方式により、順位を決定する。
順位決定の方法は、勝点の高いチームを上位とする勝点方式による。

勝点の算出方法は、勝ち 3 点、引き分け 1 点、負け 0 点とする。勝ち点が並んだ場合は、①勝ち点が同一のチーム間での対戦成績（PK 戦の勝敗を含む）、②勝ち点が同一のチーム間で行った試合の得失点差、③勝ち点が同一のチーム間で行った試合の総得点、の順で順位を決定する。なお、①～③の方法で順位が決定しない場合は、勝ち点が同一のチーム間で行った試合の下記に基づくポイントの合計がより少ないチームを上位とする。

A) 警告 1 回 1 ポイント

B) 警告 2 回による退場 1 回 3 ポイント

C) 退場 1 回 3 ポイント

D) 警告 1 回に続く退場 1 回 4 ポイント

上記で順位が決定しない場合は、抽選とする。

(2) 試合時間は 90 分（前・後半 45 分）とし、ハーフタイムのインターバルは 15 分間とする。90 分で勝敗が決しない場合は引き分けとする。ただし、引き分けの場合は PK 戦を行い、勝敗をつける。

(3) 4 審（審判資格 4 級以上）は帯同審判にて対応する。必ず審判服を着用する。

10. 競技規定

大会実施時点における最新の（公財）日本サッカー協会競技規則による。

(1) 大会参加申し込みした選手のうち、各試合の登録選手は最大 20 名とする。

(2) 交代はメンバー表に最大 9 名まで交代要員を記入し、5 名まで主審の許可を得て交代することができる。ハーフタイムの交代を除き 3 回交代できるものとする。また、交代して退いた選手が再び出場することはできない。

(3) ベンチ入りできる人数は最大 15 名（交代要員 9 名、役員 6 名）とする。

(4) 脳振盪またはその疑いのある選手が発生した場合の取り扱いは、次の通りとする。

a. 脳振盪またはその疑いのある選手の交代（以下「脳振盪交代」という）は、通常交代に含まれない。

- b. 脳振盪交代は、通常交代と判別できる、別途指定する手続きで行われなければならない。
 - c. 脳振盪交代と通常交代を同時に行った場合、通常交代および脳振盪交代の交代回数をそれぞれ1回としてカウントするものとする。
 - d. 脳振盪交代をした場合、相手チームは通常交代とは別に、1名1回の交代を追加で得ることができる（以下、本項に基づく交代を「追加交代」という）。ただし、その際に追加された交代回数については、追加交代のみを行うことができ、その機会に通常交代を行うことはできない。なお、追加交代は理由如何を問わず使用できる。
 - e. 1試合における各チームの脳振盪交代および追加交代の交代人数は、それぞれ1名とする。
 - f. 脳振盪交代の判断は、該当チームの監督が行い、対戦相手の監督および主審の承認を得て認められるものとする。なお、監督が不在の場合は、それに相当する当該チームの役員がその任を担うものとする。
- (5) チームの事情で試合が開催できない、あるいは試合が継続できない場合、その試合の結果は「0-6」として取り扱うものとする。

1 1. 試合球

モルテン F5N4900（芝用）

1 2. ユニフォーム

- (1) ユニフォーム（シャツ・パンツ・ストッキング）については、正の他に副としてこれと異なる色のものを参加申込書に記載し、大会会場に必ず携行する。
- (2) シャツの前面・背面に参加申込書にて登録した選手固有の番号を付ける。
- (3) ユニフォームの色および選手番号の参加申込締め切り後の変更は認めない。
- (4) 審判服（黒）と類似した色のシャツをユニフォームとすることはできない。
- (5) ユニフォームへの広告表示については日本サッカー協会「ユニフォーム規定」に基づき承認された場合のみ、これを認める。また、会場によって広告掲出料が発生する場合は、チーム負担とする。
- (6) ユニフォームに他のチーム（各国代表・プロクラブチーム等）のエムブレム等が付いているものは着用できない。
- (7) 白またはユニフォームと同系色のソックステープの使用を認める。また、黒色のサポート装具の着用を認める。
- (8) その他の事項については日本サッカー協会ユニフォーム規程に則る。

1 3. その他

- (1) 本大会において、警告を2回受けた選手は次の1試合に出場できない。
- (2) 本大会において、審判により退場を命じられた選手および役員は、次の1試合に出場できず、それ以降の処置については本大会フェアプレー委員会にて決定する。本大会フェアプレー委員会の委員長は、東海サッカー協会規律委員会委員長とし、委員については東海女子委員長及び東海学生女子サッカー連盟委員長とする。その他のメンバーについては、東海学生女子サッカー連盟委員長が任命するものとする。
- (3) 試合開始 70 分前に主審・両チーム代表者によ

る打ち合わせを行う。チーム代表者はこのときに選手登録証または選手登録一覧とメンバー表を提出する。メンバー表には監督が署名を行う。なお、選手登録証または選手登録一覧はリーグ初戦時のみ提出すれば良い。

- (4) ユニフォームは、事前に当該チームの協議において決定する。両チームの協議でユニフォームが決定しない場合は主審によるコイントスで決定する。
- (5) 試合中の雷発生時の対応について、雷鳴が聞こえなくなってから 20 分後に試合を再開する。後半が少しでも開始されていれば、その後の試合が再開できずに中止となった場合でも、その試合は成立したものとする。一方で、後半が開始されずその後の試合が再開できずに中止となった場合は、その試合は不正立とし、再試合（キックオフからやり直す）とする。再試合時は、新たにメンバー表を提出する。

1 4. 参加申し込み

申込締切 2026 年 8 月 31 日（月）

尚、申込締切後の選手登録・背番号の変更は原則認められない。

1 6. 表彰及び全国大会出場資格

- (1) リーグの優勝チームと準優勝チームには賞状が与えられる。
- (2) 優勝チームならびに準優勝チームには、第 35 回全日本大学女子サッカー選手権大会への東海地区代表としての出場資格が与えられる。

1 8. 傷害保険

各チームで傷害保険に加入しておく。大会本部では、応急処置を含めた一切の責任を負えないため、各チームで対応する。

1 9. 組み合わせ

別紙参照（天候等により変更する場合がある）

※本ページは実施要項を一部抜粋して掲載しています。詳細は実施要項をご確認ください。2026 年 6 月 30 日